

アート 芸術感覚を呼び覚ます

芸術は音楽と違って、「好きか嫌いか」ではなく、「分かるか分からいか」で判断されがちです。これは日本特有のもので、芸術を理解すべき対象にしてしまったのは、明治の日本の近代化政策にも一因があります。

明治初期、岩倉具視率いる欧米使節団を契機として日本の近代化が加速し、官立の美術学校や美術館などがつくりました。そして国家は、そこに展示された絵画や彫刻などを指して、これが芸術だといってしまったんです。以来、人々にとって芸術は美術館で鑑賞する何やら立派なものとなり、先祖から受け継ぎ楽しんできたお祭りや大道芸、着物、庭、食文化などの生活文化を、芸術の領域から除外してしまいました。

しかしこれこそが間違いのもとでした。『水都大阪2009』では、まずはそうした生活の佇まいや人々が興味を引くものを芸術の概念に含め、さまざまな体験を通して生活実感から離れていた芸術感覚を呼び覚します。そして自分たちの文

水の都大阪の魅力を体感

私は、大阪とは20年来のつながりをもっています。2007～08年には、大阪から世界に向けて文化・美術情報を発信する『大阪・アート・カレイドスコープ（大阪府立現代美術センター）』をプロデュースしました。そうした縁で、今回『水都大阪2009』をお手伝いさせていただくことになりました。

大阪を知るようになって、とても好印象なことがふたつあります。ひとつは、組織より個々の人間のつながりで仕事が動くこと。大阪は人と人のつながりをとても大切にし、人々のまちに対する熱い思いを感じます。もうひとつは、都心部に滔々と流れる川の存在です。大都市なのに一步川辺に出ると、広々とした空があり、風があり、波間に魚が飛び跳ねる。まさに得難い自然の資産です。

この大阪の水辺こそは、都市再生の力になります。『水都大阪2009』では、都心を回廊する川をクルーズしたり、船着場から水辺の楽しみを発信したり、中之島でもアートをテーマ

け、アートと市民パワーを結集！ 新たな活力の創造へ。

化の良さを再発見し、水の都大阪の魅力を皆で楽しめます。

都市再生にかかわるアーティスト

芸術というのは極めて人間的で、しかも赤ん坊のように非常に手のかかる活動です。だからこそ自由な可能性をもっており、芸術を媒介としてさまざまな人や組織とつながることで、土地固有の文化が創造されるのです。例えばフランスのナントというまちでは、市長が芸術文化によるまちづくりを掲げ、まちの中で巨大な人形を動かしたり、青空クラシックコンサートを開いたり、歴史的価値のある菓子工場をレストランつきのアートセンターとして再利用するなど、さまざまな文化施策を推進しました。そしてまち全体が元気を取り戻し、多くのIT企業がナントに移転するなど、経済の活性化も促進されました。また、ガウディやピカソで知られるバルセロナ（スペイン）、歴史的街並の保存で観光客力を高めたボローニャ（イタリア）、さらにはアジアの各都市においても、グローバルスタンダードの潮流の一方で、文化都市としてのアイデンティティーをもって固有の文化力を磨こうと努力しています。アーティストは、そうした都市再生に大きくかかわっているのです。『水都大阪2009』に参画する芸術系団体も、大阪の苦しい財政事情をよく知った上で自分たちのネットワークを駆使し、都市再生に関わろうとしています。まさに大阪の伝統である「市民の力」を感じます。

に市民参加によるさまざまなワークショップを行います。また、多彩な水辺の景観を楽しめるよう、夜間の灯りプログラムにも工夫を凝らします。『水都大阪2009』は、こうして水の都大阪のさまざまな魅力を知り、体感し、発信することを目的としています。

まちを磨き、育てる活動

『水都大阪2009』が開催される今年は、大阪が水の都としてのアイデンティティーをもって歩み出す、まさに“水都元年”です。これを契機にまちを磨き、まちを育てる活動を継承していくことが、大阪の都市再生を加速させるでしょう。今後は中之島を水の都大阪のシンボリックな場所として位置付け、ここからさまざまな芸術文化を発信することも考えられます。

「花の都・パリ」といわれますが、芸術活動をしている人たちは全てフランス人ではありません。しかしパリのアーティストといえば、皆フランス人だとイメージします。つまり、まちのイメージは、そこで何かをする人たちの存在によって決まるんです。大阪で活動する人は、誰であろうと大阪ファンであり、大阪人なんです。

現在、大阪にはハイレベルな活動をしているアート系団体やNPOがたくさんあります。『水都大阪2009』をきっかけに、そうした人たちが水辺を共通のプラットフォームとして出会い、あるいは連携することで、創造都市としての発展が期待できるでしょう。中之島がパリのような存在になっていくのです。